

情報公開文書書式

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟入院患者における栄養診断の特徴：横断研究
所属部署	長崎リハビリテーション病院 臨床部
研究責任者(職名)	河野真莉菜 (管理栄養士)
研究期間	2022年9月12日～2022年9月25日
研究目的と意義	栄養ケアプロセスは、アメリカ栄養士会が2003年に策定した栄養アセスメント、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価の4段階で構成されている栄養管理の手法です。栄養ケアプロセスの実施は栄養管理の質の向上に影響することが報告されており、栄養診断は栄養状態の評価や判定に関する管理栄養士や栄養士間のばらつきを最小限にする効果があります。リハビリテーション病院の入院患者では43.5%に栄養障害を抱えています。本邦のリハビリテーション病院において栄養診断の実施率は4.7%と低い状況です。回復期リハビリテーション入院患者において栄養診断の概要をまとめることは、患者層の栄養障害に関する要因の把握や急性期・亜急性期での低栄養予防または改善の手立てになると考えます。本研究は、入院患者の栄養診断を集計し、疾患・年齢・FIM別で栄養診断の割合を比較することを目的に計画したものです。
研究内容	●対象となる患者さま 2018年10月～2021年12月の間に当院に入院した患者様
	●利用する情報 入院時の年齢、性別、栄養管理法、摂取エネルギー、摂取蛋白質、栄養サポートの有無、身長、体重、BMI、安静時必要エネルギー、エネルギー消費量、要介護度、FIM、低栄養の評価（MUST、GLIM基準）、栄養診断、転帰、主病名
	●研究方法 上記情報を電子カルテより収集し、個人が特定できないように匿名化したのち、下記の内容を集計、解析します。 ①栄養診断のカテゴリー別と栄養診断項目の割合。 ②主疾患、年齢、FIMの群別で栄養診断の割合を比較。
問い合わせ先	所属：一般社団法人是真会 臨床研究開発部 (PACS) 西岡・高橋 住所：長崎市銀屋町4-11 電話：095 (818) 2002 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)